

令和元年度 別府溝部学園短期大学 温泉コンシェルジュ 社会人コース

本コースでは、地域資源(観光資源)を熟知し、温泉の持つ効果・効能や活用方法など専門的な知識を学び、さらにフィールドワークやプレゼン・演習等、能動的かつ実践的な学修によって、観光業で求められる能力を修得します。

文部科学省職業実践力育成プログラム(BP) 認定 4科目

※基礎科目Ⅰ・Ⅱで、21コマ、応用科目Ⅰ・Ⅱで46コマ(1コマは90分)

トータル10日間ほどで習得できる

基礎科目Ⅰ <ul style="list-style-type: none"> ・ 温泉コンシェルジュの基礎 ・ 別府の歴史と発展 	基礎科目Ⅱ <ul style="list-style-type: none"> ・ 温泉学 ・ 大分学
応用科目Ⅰ <ul style="list-style-type: none"> ・ 温泉文化と活用 ・ 温泉コンシェルジュ演習 ・ 温泉コンシェルジュ応用 	応用科目Ⅱ <ul style="list-style-type: none"> ・ 温泉医療療養指導 ・ 温泉入浴指導員養成講座

基礎科目では、地域についての学びを中心に展開する。具体的には「温泉コンシェルジュの基礎」で、コンシェルジュ業務や「おもてなし」についての基礎的な知識を習得するとともに、地域を紹介するうえで必要となってくる知識を「別府の歴史と発展」「大分学」で養う。また本コース最大の特徴である「温泉学」では、温泉を活用した産業やまちづくり、地質学などの視点から見た温泉に関する科学的な知識を習得します。

応用科目では、「健康」や「癒やし」について学ぶことを目的とし、観光地では要となる「観光コンテンツ」を学ぶため、「温泉文化と活用」「温泉コンシェルジュ演習」「温泉コンシェルジュ応用」のプログラムを通して、地域のまちづくり・観光団体によるサービスなどを体験し、顧客に対しての提案力を身に付ける。加えて「温泉医療療養指導」や「温泉入浴指導員養成講習会」で、実際の医療関係者などから温泉入浴が身体にもたらず影響と、温泉療法の歴史や現代医療の意義を学び、オーダーメイドのプログラムをプロデュースできる企画力を修得します。

自己 課題 解決 力 アップ	<p>温泉マイスター検定は必須 明礬温泉郷と鉄輪温泉郷のFW 観光地での聞き取り調査 別府ハットウオークまち歩きに参加し、「おすすめのまち歩き」のプログラム作成と発表 温泉本とスパポートを活用し8湯めぐりで初段となり、「おすすめのはしご湯」のプログラム作成と発表 一泊2日のオリジナルプログラムの作成と発表 ※社会人受講生はフィードバック授業を職場にて実施します。 ※温泉入浴指導員講座は、一般財団法人日本健康開発財団が実施いたします。</p>
取得 できる 資格	<p>温泉コンシェルジュ基礎科目修了証(民) 温泉コンシェルジュ応用科目修了証(民) 別府温泉コンシェルジュ認定書(民) 温泉入浴指導員講習会修了証 温泉入浴指導員認定書(民) (厚生労働省が定める「健康増進施設認定規程」第4条第4号ホに規定)</p>

※登録、受講料は、50,000円 温泉入浴指導員講座は、別途35,000円(消費税別)が必要です。